

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月14日(水) 14:00~16:00
- 3 開催場所 可児高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	金子 嘉明	(可児高校PTA会長)
副会長	今井 竜生	(可児市立蘇南中学校長) (欠席)
委員	松井 慶子	(元可児高校PTA役員)
	市原 崇光	(可児市商工会議所副会頭)
	安藤 麻記子	(可児市役所産業振興課主任)
	菰田 さよ	(可児市国際交流協会)
	杉浦 浩子	(岐阜医療科学大学看護学部学科長)
	吉田 憲博	(坂戸地区自治会長)
	吉田 孝尚	(坂戸地区副自治会長) (欠席)
職員	川地 晃正	校長
	二村 文敏	教頭
	虫賀 則行	事務長
	内藤 崇	教務主任
	川島 隆史	生徒指導主事
	山下由香理	進路指導主事
	本間 豊	研修主事
	浅野 太一	特活部長
	加藤 紫帆	(記録係)
	亀村 真由	(記録係)

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 取組の年間反省及び次年度への課題等について(教頭)

生徒の学校評価アンケートでは特に「本校に入学できてよかったと思っている」、「単に学力だけでなく、健全な身体、豊かな心も含めた人間を育成しようとする校風が感じられる」との項目について肯定的に答えた生徒、保護者が8割で、本校の教育について肯定的に捉えており、現在の本校の改革について理解を得ていることがわかる。次年度もさらに地域や中学校にも理解が広がるよう教育活動の一層の充実と広報活動に力を入れていきたい。

#### (2) 協議 『校則の改定について』

意見1:生徒から校則を変えようという動きが出てきたことに拍手を送りたい。生徒が快適に過ごせていないのであれば、生徒から出てきた意見を取り入れてよいと考える。

意見2:校則を変えていくにはどうしたらいいのかを自分たちで考えており、自主自立という

面でもとてもよい。自由と責任を一緒に考える機会となり、学力以外の部分でも力が付くのではないか。

意見3：自分が高校生の時にも、同じような動きがあった。その時も、自分事としてとらえ、責任を感じることができた。生徒が考えた「可児高生らしい服装」を見せてもらいたい。

意見4：生徒が制服改定の取組を行ったことが重要。「可児校生らしい」との文言を可児高生のプライドとして服装や態度に表れてくることを期待する。

意見5：今回の制服改定は生徒発信で始まったとのことでもとてもよいが、時代の流れでまた変わることもあると思う。体育祭の体育館開催なども含めて、学校は最終的にどのような形にしたいと考えているか。

⇒生徒が行事や規則などについて主体的に動き、実現しようと動いている。時代の流れで変わることもあるかもしれないが、行事の在り方や規則をすべて学校側が決めることは自治的ではない。「生徒から」というプロセスを大事にしたい。今年度は様々な場面で「先輩たちができなかったことが、自分たちにはできた」という生徒の笑顔が見えた。これが大きな自信になるとよい。

### (3) 『総合的な探究の時間・学年発表参観・講評』

- ・人との関わりの中でフィールドワークやリサーチを進めており、体験に基づく action の提案となっている点がよい。
- ・テーマの選び方、着眼点がよい。現状の調査から解決策への進め方もよく考えられた探究であった。
- ・可児市の特産物をPRする動画が良かった。こういう手法を使うと人の心も動きやすく、アピールのポイントになる。テロップの出し方の工夫をするともっとよくなるのではないか。
- ・身近な問題をテーマとしており、アンケートを取って調べたことで、現状や課題もよくわかった。是非、actionの成果を見てみたい。
- ・フードロス問題は世界的な問題であり、なかなか考えをまとめるのは大変だったと思うが、調査したこと自体が次へのステップとなる。
- ・「住みよい街づくり」との提案は是非可児市に直接伝えられるとよい。ショッピングモールの建設という仮説の可能性を検証するとともに、可児市のもつ自然に着目して再考し、可能性のある解決策を提案できた点がよかった。

## 6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、学校評価を踏まえた教育活動の1年間の振り返りと自己評価について報告するとともに、『制服改定』について協議し、委員から今後の展望を踏まえた助言を得た。また総合的な探究の時間における学年発表会では、学年で選出された代表の6チームの発表に対し、講評を依頼し、「探究活動を通して培った力を今後の学習や進路選択にも活かしてもらいたい」等の生徒の成長を期待する言葉を得た。

今年度の学校運営協議会での意見を踏まえ、新たな時代に対応するべく学校改革を継続し、次年度の教育活動の更なる充実につながるよう取り組んでいく。